

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	政治倫理審査会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	01	14
施策	6-1	市民参加の地域社会づくり		主管課長 菊池 義博				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市議会議員	意図	市議会議員の政治倫理の確立を図るため、政治倫理審査会を設置。
事業内容	審査会は、流山市議会議員政治倫理条例第7条第2項に基づく政治倫理違反行為の存否についての調査を行うもの。 これは、市議会議員から議員が政治倫理基準に違反する行為の存否について、市長に調査依頼をし、市長は政治倫理審査会に調査を行わせるもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年4月1日から流山市議会議員政治倫理条例が施行され、また、平成20年4月1日から流山市政治倫理審査会条例が施行されたことにより、審査会を設置（両条例ともに議員発議）。条例施行から現在まで調査事案は発生していない。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		調査件数	0	0	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						調査事案は、条例施行から現在まで発生しておらず、政治倫理が保たれている。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)		173,300	134,240	167,840			
事業費(b)(円)		36,000		36,000			
うち一般財源		36,000		36,000			
職員給与費(c)(円)		137,300	134,240	131,840			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	委員の構成が、学識経験者が3人、市民（公募）が2人の計5人で、全て男性である。市民（公募）については女性を登用したい。
H30に実施した取組(Do)	平成29年度中に任期満了に伴う市民（公募）委員の応募を広報やホームページで呼びかけた。

取組における課題(Check)	委員の応募を広報やホームページで呼びかけたが、結局女性からの応募がなかった。
課題に対する今後の改善計画(Action)	学識経験者について、1人は女性を選任するよう、弁護士会等に候補者の推薦を依頼する方向で検討したい。